

# 令和2年度 公共事業再評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	治水事業 [広域連携河川改修事業 (国補)]		事業箇所	甲斐市 竜王	地区名	貢川	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)					
	H24~R1	H24~R2						
総事業費	940 百万円	— 百万円	1,435 百万円	①地域・住民の意向状況 平成12年、14年に浸水被害が起きており地域住民から河川改修の要望が出されている。 また、平成28年に計画区間上流で、洪水により護岸が被災したこともあり、安全な川づくりを求められている。 ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針 なし ④上位計画・関連事業計画等 ・「山梨県総合計画」(R元.12) ・「山梨県強靱化計画(改訂版)」(R2.3) ・「山梨県社会資本整備重点計画(第四次)」(R2.3) ⑤自然環境条件等 ・貢川に生息する生物の生息環境の創出 ⑥その他 なし (3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]				
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
貢川は甲斐市大笹を上流端とし、甲斐市竜王、甲府市を流下する流域面積14.5Km <sup>2</sup> 、流路延長7.1kmの一級河川である。 平成12年9月洪水や平成14年7月の豪雨で貢川の水位が上昇したことにより、浸水被害が起きており、特に流下能力が不足している長塚橋下流～勸進橋区間は、氾濫被害が懸念される。 このため、流下能力の向上を目的とした河道改修を実施し、被害の防止を図る。								
□主要目標 ○洪水被害の防止 改修目標流量に対する現況流下能力の割合：0.6 > 0.4※以下 浸水被害又は水防活動の実績：有 想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 ※評価基準値								
□副次目標 ○なし □副次効果 ○被災時の被害波及の防止 ○身近な緑地・交流の場の提供								
②事業概要								
・河川改修 L=640m 橋梁1橋								
③全体計画								
		令和元年度まで	令和2年度 (評価実施年度)					
現計画	工事内容	護岸工：320m 橋梁：1橋 設計：1式 用地補償：1式	護岸工：320m	/				
	事業費	795 百万円	145 百万円					
変更計画	工事内容	護岸工：320m 橋梁：1橋 設計：1式 用地補償：1式	護岸工：40m	護岸工：280m				
	事業費	795 百万円	80 百万円	560 百万円				
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。 ④特記事項(関連事業概要等) ・既整備状況 河川改修 L=260m H20~H23 580百万円								
⑤これまでの評価状況								
なし								
費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※その他は、間接被害防止便益								

## 2.評価シート

### (4) 評価項目【事業の進捗状況及び見込み】

#### ①これまでの計画変更等の概要

長塚橋上流区間について、当初計画では拡幅が必要となる右岸のみを改修する計画としていたが、平成28年に左岸の空石積護岸が出水による被災を受けたことから、改修計画の見直し検討のため事業期間を1年間延長した。

(平成29年度)  
(事業期間) H24~R2 (1年延長)

#### ②進捗率

別表のとおり。

#### ③事業進捗が順調でない理由

水替工について、当初は設置が容易な仮排水管による施工としていたが、上流部は河川幅が狭く、河川内作業の安全確保の観点から作業スペースを確保するため、河川中央へ鋼矢板を設置した半川施工とせざるをえなかったこと、さらに掘削をしたところ湧水が想定以上にあり、その処理に時間を要した。

また、進入路や作業ヤードが狭小であり、施工時の近隣住居への騒音や振動対策など慎重な作業を求められていることから、事業進捗に遅れが生じている。

#### ④今後の事業執行上の問題点

長塚橋上流を再調査したところ、護岸の損傷や変状などがあり、安全性が不足している状況が確認された。

#### ⑤変更計画の進捗予定(期間)

左岸が被災した場合には甚大な被害となることから、地元住民も近年の激甚化する水害を懸念しており、改修の要望も大きい。県民の安全確保に努めるため、左岸も護岸改修を行い、事業期間を7年延長し令和9年の完成を目指す。

### ⑥変更計画の変更内容(事業費)

変更工種等	事業費増減		変更理由
護岸工	495	百万円 <b>増減</b>	左岸の護岸改修を実施する必要性が生じたため
		百万円 増減	
		百万円 増減	
合計			

### (5) 評価項目【環境負荷等への配慮】

地域と連携し親しみのある河川空間の形成を実現する。また、捨石や埋戻し等は現地材を利用し、植生については在来種が生育するよう環境に配慮した河川改修を行う。

### (6) 評価項目【コスト縮減の可能性】

なし

### (7) 評価項目【代替案立案の可能性】

なし

### (8) 所管部の今後の方針 継続・**見直し継続**・その他( )

(理由)

河川の氾濫による災害を防止するため、事業費及び事業期間を延長し、令和9年度の完成を目指す。

### ○別表-進捗率(事業費ベース)

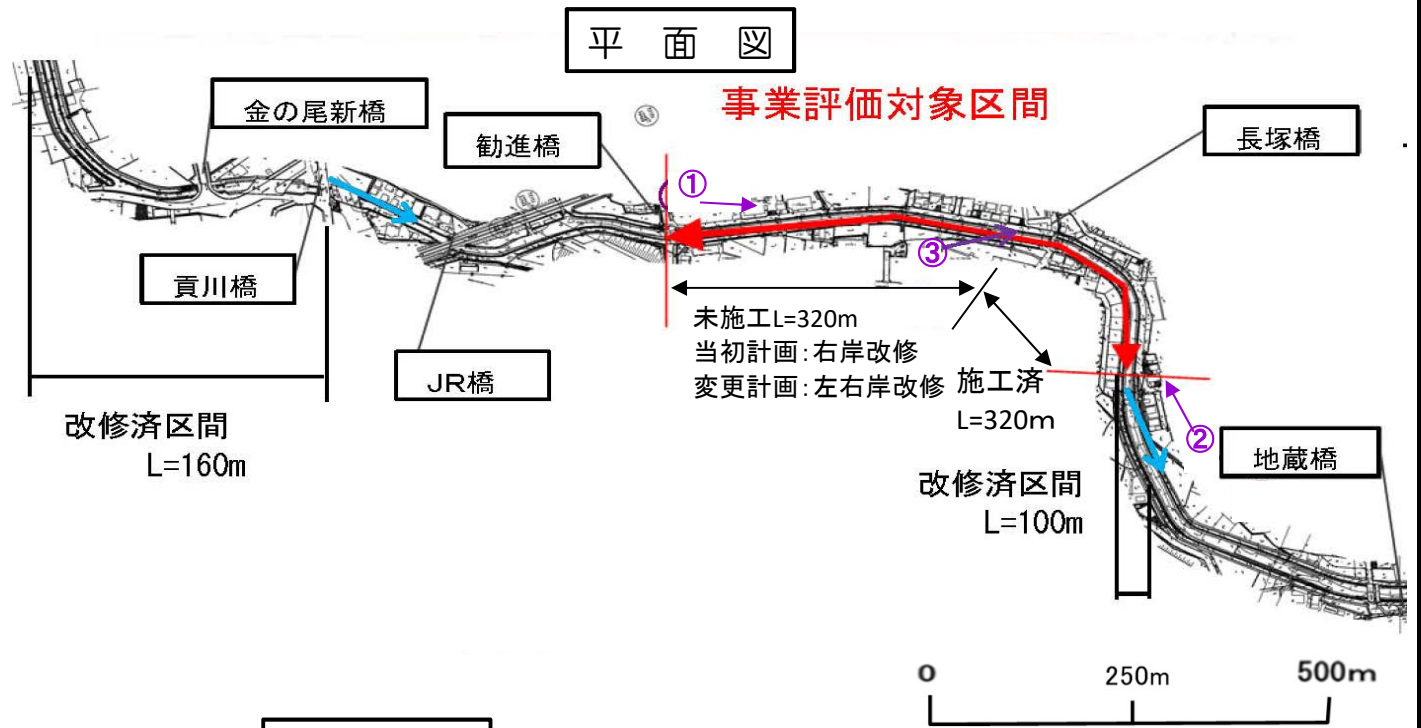
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

単位：%

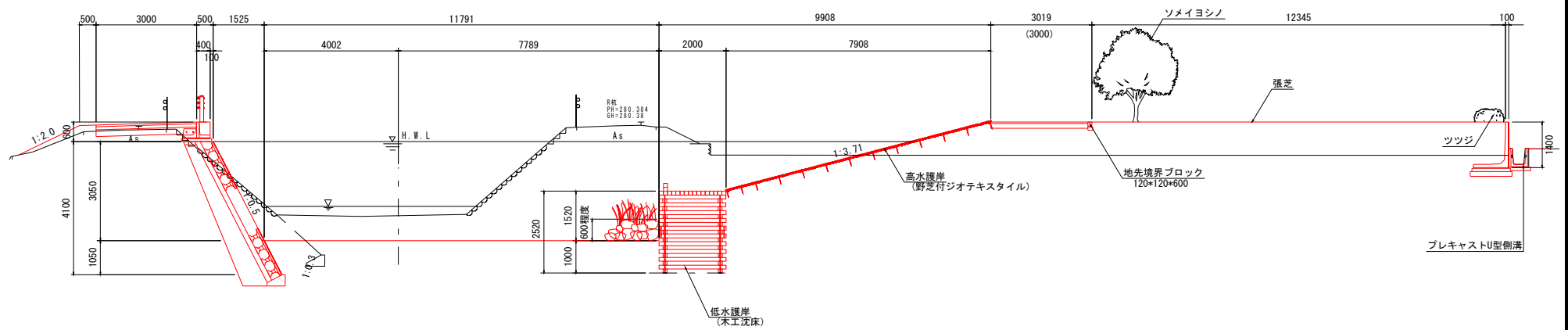
	年度	*H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	*R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
現	計画	10	22	38	47	57	67	75	85	100							
	実績	10	22	38	47	57	67	75	85	93							
変更計画										61	67	72	78	83	89	94	100

\*事業着手年度又は評価年度

### 3. 添付資料シート (1)



**標準断面図**



### 3. 添付資料シート (2)

勸進橋下流側



平成12年9月 貢川の出水状況



### 3. 添付資料シート (3)



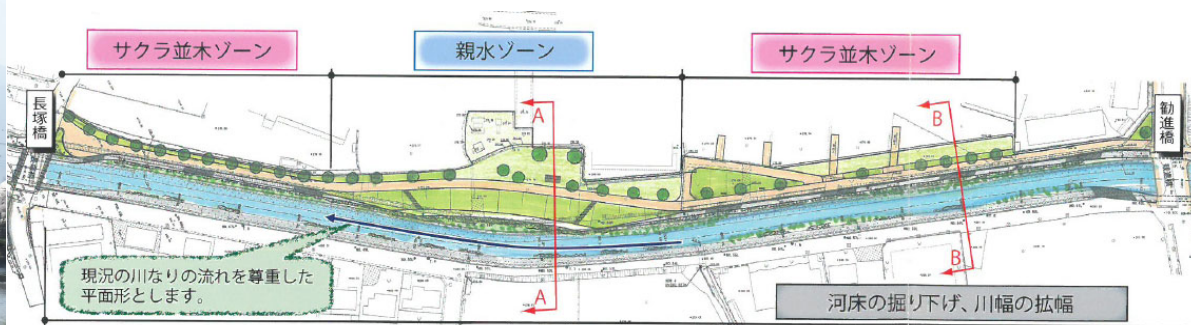
作業スペースの狭小状況と鋼矢板による半川締切の状況



湧水の発生状況



下流部の親しみある河川空間の状況



地域と連携し親しみのある河川空間の実現を目指しています。  
(河川と公園の計画イメージ)

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	97,000	用地測量1式 橋梁設計1式 護岸工L=110m	10.3
H25	106,000	地質調査1式 用地補償1式 護岸工L=40m	21.6
H26	154,000	用地補償1式 護岸工L=60m	38.0
H27	81,000	用地補償1式 護岸工L=20m 下水道管1式	46.6
H28	99,000	用地補償1式 橋梁1式	57.1
H29	96,000	護岸設計1式 用地補償1式 橋梁1式 護岸工L=26m	67.3
H30	76,000	用地補償1式 護岸工L=24m	75.4
R1	86,000	護岸工L=40m	84.6
R2	80,000	護岸工L=40m	61.0
R3	80,000	護岸工L=40m	66.6
R4	80,000	護岸工L=40m	72.1
R5	80,000	護岸工L=40m	77.7
R6	80,000	護岸工L=40m	83.3
R7	80,000	護岸工L=40m	88.9
R8	80,000	護岸工L=40m	94.4
R9	80,000	護岸工L=40m	100.0
合計	1,435,000		

(参考) 延長は、河川の縦断延長